

令和元年度 小学校教員向け環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」
第3回「多摩川いきもの調査隊」実施報告(テーマ：水)

- 実施日時 令和元年8月2日(金) 10時00分～16時15分
□受講者数 23名(教員20名、研修・聴講者3名)
□実施場所 福生市立福生第五小学校、福生市周辺の多摩川
□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

(ゲストティーチャー：NPO法人自然環境アカデミー専務理事 野村亮氏)

(1) 多摩川の水生生物の調査体験

- ・救命胴衣の付け方、川に入る諸注意の説明。
- ・各自、水生生物調査を実施。

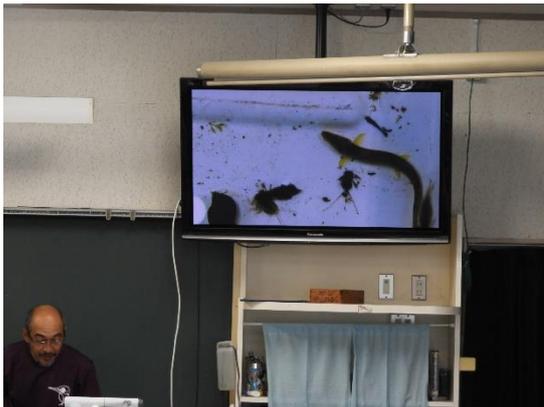




【午後】

(2) 採取した水生生物の観察と午前の調査の解説

- ・採取した水生生物の観察と解説
- ・河川の水質、水生生物の生息環境等の説明



3. 環境学習プログラム「“水” 調査隊」の紹介及び実習

(講師：NPO 法人環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

(1) 環境学習のポイント ～体験の重要性・森は命のみなもと～

- ・子どもたちは、体験を通して、「森は命のみなもと」であることを知り、自然を大切にすする人間に成長する。
- ・環境学習には知識と体験の相互作用が大切。教科学習の土台があるから環境学習ができる。
- ・環境学習は自分の問題として気づきを促す手法。暮らしの中や地域での実践、様々な人と関わることによる成長や感動、ふるさと意識の醸成にもつながる。



(2) 水の学習のポイント解説

- ・水が生命維持のために必要不可欠であることを認識させる。水の循環を意識させる。
- ・地球上の生命が使える水はごくわずかであることを解説し、無駄にしない、汚さない工夫をする。
- ・水を守り、生き物に供給しているのは森林であることから自然の大切さを知る。

(3) 「水」調査隊」模擬授業

① 「水の汚れ減らし隊」パックテスト編

【パックテストによる水の汚れ調べ体験】

- ・水道水、多摩川の水、ソースを垂らした皿を洗った水、ソースをふき取った皿を洗った水について、パックテストを実施。
- ・生活排水が環境に及ぼす影響を知り、どのようにすれば水の汚れを減らすことができるか、生活行動を考えるプログラム。



② 「水の汚れ減らし隊」廃油石けん作りプログラムの紹介

(4) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、グループごとに発表し、受講者で情報を共有。



(発表意見の例)

- お互いの学校でどのような環境学習をしているか情報交換をした。地域の特徴を生かすことが大切。
- 地域で探るのがいいと思うが、だんだんと自然がなくなっていくのでどうすればいいか。
- 異動があり、地域に根差した活動をするのが難しくなっている。子供のために、何が必要か考え教科の中で生かしていきたい。
- 環境教育をやりたいが、オリンピック・パラリンピック教育や英語などやることもあり、なかなかできない。系統だて、続けていくことが難しい。
- 4年生なら水の学習と直結しているのので、今回の水質の調べ方や生きものの調査を活かせると思う。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散